

キャベツお母さん!?

僕のお母さんは、いくらきつなくても家族のために体にいい物を食べさせようとしめます。僕は最初野菜があまり好きではなかったですが、食べているうちにだんだん食べられるようになりました。僕は考えてみました。お母さんが健康にいい食事を用意してくれなかったらどうなるだろうか。

お母さんは韓国人です。大学院の時、日本人のお父さんに出会って結婚したそうです。韓国ではこういう食べ方があります。キャベツにご飯をのせ、その上にゴマだれをつけてまいて親が子に食べさせる食べ方です。お母さんはよく自分が子どものころそのキャベツご飯をおばあちゃんに食べさせてもらったことを話しています。とてもおもしろかったのが、お母さんは3人姉妹で、家にキャベツご飯が出ると3人そろって「あー」と口を開けて待っていたそうです。まるで鳥がひな鳥に食べ物を与える様で想像するだけで笑いが止まりません。

僕は、そのお母さんが作ってくれるキャベツご飯が大好きです。キャベツご飯が出ると僕もまるでひな鳥の様に口を開けてしまいます。お母さんはほくとお父さんに「口を大きく開けてあー」と言います。そうすると、私たちが「あー」と口を大きく開けます。本当に楽しくておいしいです。

福岡県 福岡教育大学附属福岡小学校 四年

溝口寛人 みぞぐち ひろひと

包むとキャベツもたくさん食べられるし、中に入れる物をかえても、とってもおいしいです。キャベツはとっても体にいいのでたくさん食べると元気がわいてきます。キャベツお母さんとはこういうことです。

お母さんのおかげで、健康になり、たくさん野菜を食べられるようになりました。これからも美味しい料理をたくさん好ききらいせずに、モリモリ食べたいです。

まだまだ感しゃしていることがあります。それは、お金をかせいでほくが好きな習い事にたくさん通わせてくれることです。それに検定しけんなどに合格したら、一緒に喜んでくれます。

僕の夢はお医者さんと折り紙作家になることです。お母さんはほくがすごい折り紙の作品を作ると、とっても喜んでくれます。この夏休みの自由研究も折り紙でした。しかし、大変難しくて失敗をくり返してたらお母さんは場所を変えると折れるかもしれないと言っていき心地のいい所に連れて行ってくれました。そのおかげで僕は自分が折り紙が折れた作品が全部折れました。

ふだんは、なかなか言えませんが、お母さんにいつも感しゃしています。「おかあさん、いつも僕をささえてくれてありがとう。」